

## 日本鐵鋼協會記事

**昭和 23 年度第 2 回理事會** (日時) 昭和 23 年 4 月 14 日(水) 18 時～20 時。(會場) 日本製鐵株式會社山谷寮。

(出席者) 會長 山岡武・理事 菊池浩介・佐々木吉備三郎・志村清次郎・松永陽之助・村田巖。(前會長) 俵國一・吉川晴十  
(監事) 田中清治。(常務委員) 石田四郎・佐々川清・谷口光平・田畑新太郎・俵信次。(主事) 金谷三松。

(特別出席) 鹽澤正一君。(協議事項) 1. 役員職務分擔(前號掲載の通り) 2. 編輯委員更迭の件。任期満了退任の方  
常富省二君・山本洋一君・吉城肇君 新に依囑の方 鈴木甫君・橋恭一君・成廣清士君・濱本甲子生君・三井太信君・吉  
田道一君。〔備考〕以上の更迭で現在の編集委員は次の通り 12 名です。(23 年 4～6 月號の記事に誤記あり本文通り訂正いたし  
ます。) 伊木常世君・一色直文君・佐藤忠雄君・鈴木甫君・橋恭一君・成廣清士君・兒子茂君・長谷川正義君・濱本甲子生君  
三井太信君・三橋鐵太郎君・吉田道一君。

3. 白耳義國外交代表部より御提供の同國製鐵狀況の映畫借用講演會開始の件。

4. 自今役員は毎金曜日の正午晝辨當携帯にて協會々議室に集まり自正午約 1 時間自由歓談のひとつ時を持つこと。

〔註〕本集會はその後毎金曜日に嚴格に實施せられてゐます。會長、副會長その他の役員の方は一回も休まれたことな  
く會務諸事誠に好都合に運んでゐます。同様に此の時間を利用して遠方から御出張の會員諸君も丁度御出席にな  
り種々お談合の好機にもなつて自他共に大變便利のことゝなつてゐます。《金曜日の正午》をお覚え下さつてお  
話にお出で下さることを會長首め役員の方一同でお待ちしてゐらつしやいます。

5. 從來日本製鐵株式會社で一般會社からの御依頼に應じ分析をやつて居られましたが、この事業は全部日本鐵鋼協會でお  
受付け申上ぐることになりましたから、これからは協會の方へお申込み下さい。協會で適當各所へ御依頼申上げその成績は迅  
速に御報告申上げます。

**昭和 23 年度第 3 回理事會** (日時) 昭和 23 年 5 月 5 日(水) 16 時 30 分～19 時 30 分。(會場) 協會々議室。

(出席者) (會長) 山岡武。(副會長) 志村清次郎。(理事) 芥川武・繪野澤喜之助・菊池浩介・佐々木吉備三郎。

(前會長) 吉川晴十。(監事) 田中清治。(常務委員) 石原善雄・石田四郎・谷口光平・横山均次・田畑新太郎。(主事) 金  
谷三松。(協議事項) 1. 研究部會決定。研究部會内規の各部會を常置することゝし、次記各部會にその委員長を夫々お願  
いし置くことゝなつた。

(1) 銑鐵部會 里村伸二君。 (2) 製鋼部會 吉川晴十君。 (3) 鋼材部會 湯川正夫君。

(4) 鑄物部會 谷口光平君。 (5) 鐵鋼科學部會 田中清治君。 (6) 燃料電力部會 大原久之君。

(7) 鐵鋼二次製品部會 松永陽之助君(各部會の研究項目は追て研究の上決定する)

(8) 特殊鋼部會 石原善雄君(23-6-30 の特別協議會で決定せられた)

**昭和 23 年度第 4 回理事會** (日時) 昭和 23 年 6 月 2 日 16 時 30 分～20 時 0 分。(會場) 協會々議室。(出席者) 會長 山

岡武。副會長 志村清次郎。(理事) 芥川武・佐々木吉備三郎・松永陽之助・菊池浩介。(監事) 田中清治。(前會長) 俵國  
一・吉川晴十。(常務委員) 谷口光平・田畑新太郎・石原善雄。(主事) 金谷三松。(特別出席) 大原久之君・湯川正夫君

(報告事項) 1. 昭和 23 年度第 1 回東京地方講演會(日時) 23-5-13(木) 15 時 0 分～17 時 10 分。

(會場) 東京大學法文經第 25 號教室。(出席者) 200 名。(講演) 日本鐵鋼業の現状と將來(1h-30') 商工省鐵山局 鐵鋼課

商工技官 田畑新太郎君。映畫(1)白耳義國外交代部表より借用の白耳義國製鐵狀況(英語トーカー)。(2)日本鋼管株式會社川崎製鐵所第5熔鋼爐火入式の光景 1卷。

- (協議事項) 1. 研究部會の各研究問題討議 2. 秋季講演大會々場の件 3. 維持會員の優遇方策の件  
4. 次の2君へ研究調査委員を依頼の件

商工省鑛山局鐵鋼課 三井太信君(現編集委員兼)。經濟安定本部生産局金屬課 松本豊君。

5. 従來理事會は毎月第1水曜日に開催のところ、會計事務報告困難に付き7月より毎月第2水曜日を以て之れに充つることとなつた。

---

## 會 告

1. 鐵鋼要覽は其の後續々御注文が參りますが、遺憾ながら全部賣切れとなりました。

2. 第36回講演大會の講演者各位に申し上げます。

講演用掛圖は郵便遲着の惧れがありますので、可成御自身で會場へ直接お持參の上又お持歸りをお願いいたします。

且つ甚だ乍勝手各講演日の第一番、第二番に當られる方々は開會時刻の少くも二十分前に各會場の受付へ御交付のことを呉々もお願い申し上げます。

3. 經費節約の爲め協會よりの通信は成るべく本誌の會告欄を利用させていただきますか

ら何卒お見落しなきやう乍勝手悪しからず御諒承の程お願いいたします。

---